

法人名	社会福祉法人 伸こう福祉会
施設名	キディ石川町・横浜

発表者名 (職名)	鈴木 里亜 副主任	住所	横浜市中区吉浜町1-6		
発表者名 (職名)	水上 彩子 主任	TEL	045-222-0880	FAX	045-222-0885
発表者名 (職名)	横山 加代子 園長	メールアドレス	k-yokoyama@skfch.com		
		URL			
		定員	60名	職員数	21名

## 発表の概要・内容

はじめに社会福祉法人 伸こう福祉会は、保育と介護・障害施設を神奈川県を中心に50施設を運営しています。保育施設は横浜・川崎・藤沢に10園の施設があります。保育士の人数は、265名です。

伸こう福祉会 キディ保育園全体で『保育の質の向上と人材教育』～保育で大切にしたいことの実践～を目標に取り組んでいます。

全体研修を年に数回行っていますが、園の中では、保育の質について考えたことはあっても、より深く保育園の役割・保育の目標・保育の方法・保育の環境・保育園の社会的役割などの保育の質を向上させるための具体的に話し合う機会がほとんどなく個人の価値観や保育観で保育をすすめていました。全体研修後より職員の意思に変化が生まれ、子どもが人間形成にとって重要な時期の0歳～6歳までの環境が重要ではないかと意見が出ました。

そこで取り組んだことが、今まで行ってきた自己評価の内容を見直し保育観をより深く考える内容に変更し上半期と下半期の年2回行い数値化し個人の振り返りと園全体の振り返りを行い子どもにとって大切な環境と現在の保育について話し合い子どもにとっての最善は何かを追求しました。

また保育の質を高めるために大切なことは、まず話し合いを行うことで園長が職員との面談回数を増やし職員の思いや考えを聞き、その中で、わかっているもどうしたらいいのか、どう変えたらよいか、保育観だけではなく職場の困り事や不安などを話す機会となり風通しがよくなりました。また次年度への目標や個人の目標につながり職員同士の保育観を語り合える環境となり、現在の園に必要な係りや子ども中心に行事内容の見直しをしました。

その結果今後の目標は、『保育の質が高いということは、子どもが豊かに過ごせる環境であること。』と職員の自己評価後の話し合いの中から目標が決まり、そのためには、“保育者自身が子どもたちと一緒に楽しむ「好奇心」・「探求心」を忘れずに取り組んでいく”ことが大切な心構えではないかと現在は取り組んでいます。その取り組んだ内容とその中での課題も見えてきました。

また保育士自信が自分の仕事を『業務』ではなく『責任』として捉えられるような環境を整えていきたいと思えます。

メモ